

タイムスケジュール表

時間	内容
6:00	
7:00	7:30 起床 朝食
8:00	8:30 ホテル出発 徒歩/タクシーで移動
9:00	9:00 講義スタート
10:00	
11:00	
12:00	12:00 講義終了 班のメンバーでランチ
13:00	
14:00	14:00 研究棟に移動して実習
15:00	
16:00	
17:00	17:00 実習終了 宿に帰宅
18:00	18:00 各自誘い合って夕食 ナイトマーケット アクティビティ
19:00	
20:00	20:00 みんなでカラオケ、バーで交流
21:00	



参加してよかったこと

このプログラムでは、世界各国から集まった学生と交流する機会が多く、授業やグループワークを通して国際交流を深めることができました。異なる文化や研究背景を持つ学生と意見交換することで、新しい視点や考え方を学ぶことができ、とても刺激的でした。また、大学や研究機関の見学では最先端の半導体研究設備を見学することができ、熊大の授業ではなかなか体験できない貴重な経験になりました。さらに、講義中や休憩時間にも質問しやすい雰囲気があり、先生方がフレンドリーに対応して下さるため、理解を深めながら安心して学ぶことができました。

おすすめポイント

おすすめポイントは、専門的な半導体学習と文化体験の両方を同時にできる点です。半導体分野の講義では、IC設計や半導体製造など最先端の内容を英語で学ぶことができ、専門知識を得ることができます。また、研究施設の見学だけでなく、博物館などを訪れる機会もあり、半導体産業の歴史や社会との関わりについても学ぶことができます。さらに、海外の学生と交流しながら学ぶため、国際的な視野を広げたい学生にとってもおすすめのプログラムです。



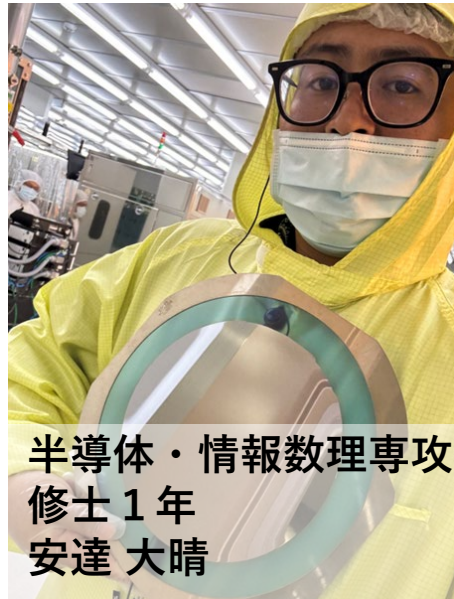
半導体・情報数理専攻
修士1年
河村 龍

参加してよかったこと

NCKUのサマースクールでは、半導体の製造工程をウエハーからチップ完成まで体系的に学び、半導体産業の奥行きと広がりを実感した。特に刺激的だったのは、各国から集まった学生や若手技術者との議論である。専門や国籍は異なっても、「半導体」という共通言語を通じて自然と議論が生まれ、技術が国境を越えて人をつなぐ力を持つことを実感した。異なる研究テーマや視点に触れる中で、自分の知識や考え方の幅が大きく広がり、研究や将来の仕事に対するモチベーションが一段と高まった。同時に、世界の技術者と対等に議論できる力を身につけたいという思いが強まり、自分の可能性と視野を大きく広げた経験となった。

おすすめポイント

おすすめポイントは、午前に学んだ内容を午後の実習で実際に体験できる点だ。講義で学んだ半導体プロセスや装置の原理を、その日のうちにクリーンルームでの実験や装置操作を通して確かめることができ、単なる知識として理解するだけでなく、実際のプロセスとして体感しながら学ぶことができた。理論と実践が結びつくことで理解が深まり、半導体製造の面白さと難しさをよりリアルに感じられるプログラムであった。



半導体・情報数理専攻
修士1年
安達 大晴